

民生委員の現状と解決案 | B班

目次

1. インターンシップの振り返り

民生委員とは

気づいたこと

分からなかったこと・疑問点

2. グループとして焦点化した課題

3. 企画について



1. インターンシップの振り返り

民生委員とは・・・

地域の身近な相談員である。

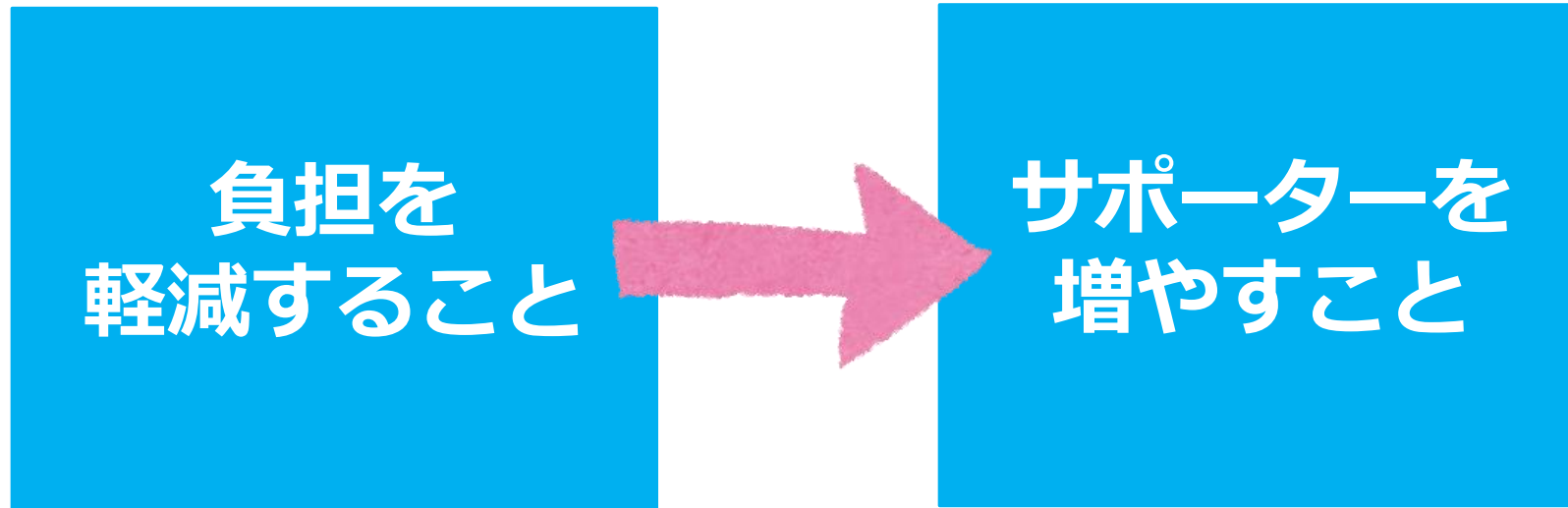
気づいたこと

- ◆ 担い手不足
- ◆ 高齢化
- ◆ 負担が大きい（身体的、精神的、経済的）
- ◆ 大変だが、やりがいがある

分からなかったこと・疑問点


- ◆ どこまでが民生委員の仕事？
- ◆ 行政との関係性（金銭面）
- ◆ 民生委員制度の在り方
- ◆ 学生にできることは？

2. グループとして焦点化した課題






学生団体をつくり、協働する。



3. 企画について



学生团体

TRUST

企画の目的

【民生委員の負担の軽減】

民生委員は現在ニーズの多様化や支援対象者の増加により多くの負担を抱えている。その負担を大学生が一定担う。

【認知度の向上】

若い世代に民生委員の存在を知ってもらい、次世代の担い手として期待を寄せる。

学生団体TRUST

《目的》

民生委員の活動をサポートし、広報活動を行う

《活動内容》

- ・チャリティーイベントの開催
- ・サロンの運営補助等
- ・その他地域の民生委員のニーズに応じて活動

チャリティーイベント

【チャリティーバザー】

◎ 学生や地域住民が物品を持ち寄るバザー
売り上げの一部を参加費として徴収し、
全国民生委員児童委員連合会に寄付

→ 地域住民との交流による地域活性化

→ 民生委員との信頼関係の構築



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-NC-SA](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/) のライセンスを許諾されています

中長期計画目標

1年目：関西で団体の発足 全国の大学に呼びかけ

5年目：組織の拡大 日本全国に展開

10年目：学生代表の総会を開催 単一の組織化

企画の意義

- ①学生という**時間的余裕**と**横のつながり**を持つ立場を利用し、民生委員に還元する。
- ②学生が民生委員と関わりを持つことで、やりがいを知り、**将来的に担い手**になる可能性が生まれる。
- ③インカレサークルという形にすることで、ゆくゆく**地域に根差した全国組織**として展開できることから、民生委員制度の性格にあっている。
- ④学生が**福祉に対する理解**を現場に出ることで深めることができる。

まとめ



民生委員・児童委員は**精神的**、**身体的**、**経済的**にも大きな負担を抱えており、人員も不足しています。

その中で学生が担うことのできる**範囲に限りサポート**を行うと同時に、若い世代に**民生委員・児童委員の認知を図り**将来的な人材確保を目指します。



ご清聴ありがとうございました

* 本資料は「民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト
(大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課)」の取組みにより作成したものです。